

事業報告書

団体名：特定非営利活動法人プロジェクト保津川

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で囲んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	こどもの未来を守ろう～親子で考えるかめおかプラスチックごみゼロ宣言
3. 実施場所	京都府亀岡市 ゆりかご広場、ふらっと HOUSE ほか
4. 実施期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。
<p>亀岡市内を流れる保津川（桂川）は、ごみの大量漂着や水質悪化など河川環境の悪化が近年深刻化し、国の天然記念物アユモドキが生息するなど希少な生態系への影響が懸念されるとともに、保津川下りなど観光産業にも大きな影響を与えており、その環境保全が大きな課題となっている。こうした中、昨年12月に発表された「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」は、全国初のレジ袋使用禁止の条例化など、国内外で大きな注目を集めることとなった。その一方で事業者や消費者の認知は十分ではなく、一部には戸惑いもみられる。</p> <p>しかし、保津川および支流域においても、依然としてレジ袋をはじめとしたプラスチックごみの大量漂着は続いている。当団体が毎月実施している「保津川クリーン作戦」においても、本年4月～5月だけでもレジ袋802枚、ペットボトル457本など、使い捨てプラスチック製品を大量に回収している。</p> <p>海洋プラスチック汚染の原因でもあり、本市にとって重要な観光資源でもある保津川の景観を守るためには、プラスチックごみの削減は急務であり、対症的に清掃活動を行うだけでなく、プラスチックごみの発生抑制の取り組みの観点から、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」の趣旨を広め、市民意識の向上をはかり、今や「当たり前」となっている使い捨てプラスチック製品の大量消費という生活習慣を改める必要がある。</p>	
6. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)
<p><親子向けワークショップ></p> <p>「こどもの未来を守ろう～親子で考えるかめおかプラスチックごみゼロ宣言」</p> <p>10月24日（木）に千歳町のゆりかごひろばで開催。14組の乳児とその保護者の参加があった。最初に、海洋プラスチックごみ問題について当団体の原田禎夫代表理事の講演を行ったあと、子供用のエコバッグと巾着袋作りを行った。レジ袋有料化、禁止が予定される中、子供向けエコバッグは少ないこともあり、親子で買い物に行くときに、子供もエコバッグを使うことで、小さいころから習慣になると好評であった。</p> <p>「こどもの未来を守ろう 親子で考えるかめおかプラスチックごみゼロ宣言 Part2 大麦ストロ</p>	

ーってなあに？」

11月29日（金）に千歳町のゆりかごひろばで開催。8組の乳児とその保護者の参加があった。講師に蒲田ちか氏（ロータスコンセプト代表取締役）をお招きして、海のプラスチックごみ問題に大麦ストローを通して取り組むきっかけをお話しいただいた後、参加者といっしょに大麦ストローを実際に制作し、試飲も行った。参加者からは「ストローの語源は麦ということを知らなかった」「子供のシャボン玉遊びにも使えるのでは」という声をいただいた。

*当初、3回予定していたが、参加しやすさなどを考慮して、第1回（講座）と第2回（ワークショップ）をあわせて開催した。

<飲食店向けワークショップ>

11月28日（木）に、市内飲食店経営者らを対象に、飲食店でのごみ削減を考えるワークショップを開催した。ワークショップでは、大麦ストロー生産および販売のノウハウなどを蒲田ちか氏に講演いただいた後、市内飲食店での展開や福祉事業との連携について協議した。参加者10名（うち、飲食店関係者8名）

➤ その後、亀岡市内ですでに収穫されていたライ麦わらをつかったストローの試作を実施した。また、種播きから刈り取り、乾燥、試作、販売までの一連の工程を確認する取り組みを継続中である。

（その他）

10/8（火） 亀岡市家庭教育委員会での講演

「未来のために知っておきたい海とプラスチックのはなし」と題して、海洋プラスチック問題や亀岡市内で進められている取り組みについて、PTA役員や市役所職員 みなさんに当団体代表理事原田禎夫が講演した。

9/29（日） 第126回保津川クリーン作戦（World Cleanup Day 2019, Toyota Social Fes 2019と共催）

かめおかプラスチックごみゼロ宣言について亀岡市長からお話しをいただいた後、清掃活動終了後に、親子連れ参加者181人とともに保津町特産の藍を使ったたたき染のエコバッグを制作した。参加者からは、「こんなにごみがあるとは思わなかった」「簡単に藍染ができて楽しかった」という声をいただいた。

<シンポジウム>

2/29（土）に「川から考えるみんなの未来」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、2020年12月ごろに延期することとした。

7. 成果と課題	事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
-----------------	---

ワークショップについては、連携団体である亀岡子育てネットワークのメール配信システムや、SNS、市役所広報誌などを使って積極的な広報につとめたが、予定していた参加者数（各 50 回）には届かなかった。しかし、参加者からはプラスチックごみの削減の必要性について「よく理解できた」という声を多数いただくことができた。

亀岡子育てネットワーク担当者によると、保育サービス利用者や講座の参加者の大半は新聞を取っておらず、プラスチックごみ問題やレジ袋の有料化け・禁止のことは「なんとなく聞いたことはある」ものの、正確に理解している人は少ないということである。そのため、こうしたワークショップはこれから社会を担う若い母親世代がプラスチックごみ問題など、身近な環境問題を身近に感じて、理解してもらうきっかけの一つになったと考えられるということであった。

こうした背景もあり、当団体主催の清掃活動などでも、より多くの人に考えてもらうきっかけを提供することを目的として、エコバッグ制作を体験していただいたり、講演活動を行うなどした結果、PTA など他団体の親子向けイベントでもエコバッグ制作のワークショップが開催されるようになるなど、親子で買い物からレジ袋を削減する機運が醸成されつつあると考える。また、レジ袋禁止条例については、市主催の住民説明会も開催されているが、本事業はじめ、市民団体による取り組みも数多く展開されている。そうした幅広い取り組みを通じて、条例への理解、支持が広まっていると考える。

また、飲食店経営者向けのワークショップをきっかけに、亀岡市内でも大麦ストローの試作が始まるなど、これまでにない取り組みが広がりつつある。

2 月に予定していたシンポジウムでは、幅広い市民のみなさんにプラスチックごみ問題について考えていただく機会としたいと考えていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、2020 年 12 月ごろへの延期を余儀なくされた。新型コロナウイルス感染症の収束後に、改めて開催し、議論を盛り上げたい。

8. 今後の展開	事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。
-----------------	---

今年度は各ワークショップについては初開催ということもあり、小規模な開催となったが、この経験をいかして、今後、定期的開催し、レジ袋やストローをはじめとした使い捨てプラスチックの削減について考える機会を提供したい。

なお、大麦ストローについては、参加者の中から事業化に向けたアイデアも出され、現在、商品化に向けた試作が進められている。今後、市内飲食店などと連携して、販路の開拓や普及につとめたいと考えている。

シンポジウムについては、亀岡市のレジ袋禁止条例施行を前にした 12 月ごろの開催をめざしている。

9. 協働の効果	今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。 ※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。
-----------------	--

亀岡子育てネットワークとの協働により事業の実施に取り組んだ結果、当団体にとっても、子育て世代を中心とした若年層への情報発信の強化を実現することができた。また、亀岡子育てネットワークにおいても、エコバッグやストロー製作のワークショップに取り組んだことは、環境問題をわかりやすく考え、誰もが行動に移せる取り組みを考えるよい機会となった。

また、保津川クリーン作戦とあわせて実施した藍のたたき染のエコバッグ制作では、京都サンガFC、NPO 法人ふるさと保津、ほづあい研究所との連携した取り組みも進められた。

今後も、引き続き本事業を通じて、市内諸団体との連携を深めるとともに、保津川流域の環境保全に資することをめざしたい。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料がある場合は添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

こどもの未来を守ろう



親子で考える

かめおかプラスチックごみゼロ宣言

Part 1

みなさんをご存知ですか？

保津川の周りにはいろんなごみが流れ着いていることを
レジ袋にペットボトル、使い捨てプラスチック製品などなど
ごみで汚れた保津川や世界の海を子どもたちへ残さないために
私たちができること

さあ、親子で楽しみながら、プラごみのこと考えてみませんか？!

10/24
(木)

プラスチック・フリーな生活を考えましょう

みなさんと「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を考えながら
プラスチック・フリーな生活について話しましょう

【時間】 10:30～12:00

【場所】 ゆりかごひろば(千歳町)

【講師】 原田 禎夫 さん
(NPO 法人プロジェクト保津川)

【参加費】 無料

【定員】 親子 25 組(要申込)

【対象】 未就園児とその保護者

★見守り保育あり

子ども用の
巾着袋付
エコバッグプレゼント!

巾着袋に大人用エコバッグを
入れて持ち運べます。
みんなで一緒に
子どもの手形やスタンプ
で可愛く飾りましょう♪



お問合せ・お申込み



NPO 法人亀岡子育てネットワーク

亀岡市追分町谷筋 37-21 ふらっと HOUSE

TEL & FAX 0771-20-1556(平日 9:00～17:00)

HP <http://www.k-kosodate.net/>

《共催》

NPO 法人プロジェクト保津川



TEL 0771-20-2569

FAX 0771-20-6396

HP <https://hozugawa.org/>



プロジェクト保津川さんはゆりかごひろばにいます。

作成者: 原田 禎夫 [?] · 2019年11月28日 · 京都府 亀岡市 · 🌐

...

今日は「こどもの未来を守ろう 親子で考えるかめおかプラスチックごみゼロ宣言 Part2 大麦ストローってなあに？」を開催しました。蒲田ちかさん（ロータスコンセプト代表取締役）を講師にお招きして、海のプラスチックごみ問題に大麦ストローを通して取り組むきっかけをお話いただいた後は、みなさんと一緒に大麦ストローを作りました。お子さまも一緒にわいわい楽しいひとときでした！ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！



<ワークショップ>カフェとプラスチックのこれから

カフェやレストランは、農作物を通じて環境問題と密接な関係にありながら、その全体像を把握するのはなかなか難しい問題です。その中で、今、世界的な問題となっているプラスチックごみについて学び、これから何ができるかを考えるワークショップを開催いたします。

対象：カフェ・レストランの経営者、スタッフ

日時：11月28日（木） 19:00～21:00ごろ

参加費無料

場所：プロジェクト保津川事務所会議室

会場がsajiから変更になりました

京都府亀岡市追分町谷筋37-21 ふらっとHOUSE 2F

<https://goo.gl/maps/M5ZAntmN6rJH5nms6>

*お車の場合は西友に停めてください。

*到着されたら2Fにお上がりください。

内容

・プラスチック問題の現状を知る

(金沢で大麦ストローとフェアトレードチョコの販売をされている蒲田ちかさんを講師にお迎えします)

・お店や実生活で具体的に何ができるかを考える

・すでに取り組まれている飲食店の事例を紹介

お申し込み、お問合せはメールまたはfacebookメッセージにてご連絡ください。

メールアドレス harada@hozugawa.org 担当：原田

講師の蒲田ちかさんの取り組みについて

[https://www.chunichi.co.jp/hokuriku/article/economy/sdgs/CK2019100502100011.html?](https://www.chunichi.co.jp/hokuriku/article/economy/sdgs/CK2019100502100011.html?fbclid=IwAR0gPxNHBswuvHhELi0YMZsoQAxduzCsbS1V4ciauDnNCfzHsffjix1E0Dc)

[fbclid=IwAR0gPxNHBswuvHhELi0YMZsoQAxduzCsbS1V4ciauDnNCfzHsffjix1E0Dc](https://www.chunichi.co.jp/hokuriku/article/economy/sdgs/CK2019100502100011.html?fbclid=IwAR0gPxNHBswuvHhELi0YMZsoQAxduzCsbS1V4ciauDnNCfzHsffjix1E0Dc)

当日、試食用に美味しい飲み物とフェアトレードチョコレートをご用意致します。

必ずマイタンブラーをお持ちください。

飲食店向けワークショップ (2019/11/28) のようす



ライ麦ストロー試作会議のようす (2020/1/23)



ライ麦ストロー試作品





2020 PROJECT HOZUGAWA SYMPOSIUM

川から考える みんなの未来

「世界に誇れる環境先進都市」を目指し、世界最先端の環境保全の取り組みを学び、市民のみなさんと亀岡のこれからを考えるシンポジウムを開催します。



坂野 晶

特定非営利活動法人
ゼロ・ウェイストアカデミー
理事長



普川 玲

スターバックスコーヒー
ジャパン株式会社



マクティア マリコ

一般社団法人
Social Innovation Japan/mymizu
代表理事・共同創立者



仲山 徳音

亀岡市 副市長

2.29

土

13:30-16:00

13:00より受付開始いたします

宗教学者 大本

参加無料

みろく会館ホール

〒621-0815 京都府亀岡市古世町北古世 82

JR 亀岡駅から徒歩10分、京阪京都交通 大本教前バス停下車すぐ
駐車場に限りがございますので公共交通機関でお越しください。

●お子様連れも大歓迎 ご家族でお越し下さい。



主催
特定非営利活動法人
プロジェクト保津川



共催
特定非営利活動法人
亀岡子育てネットワーク

助成

地域交響プロジェクト交付金(京都府)
亀岡市ささえあいまちづくり協働支援金



基調講演 / パネリスト

坂野 晶

特定非営利活動法人
ゼロ・ウェイストアカデミー
理事長

兵庫県西宮市生まれ。日本初の「ゼロ・ウェイスト」宣言を行った徳島県上勝町にて、ゼロ・ウェイストタウン計画策定や実装、ゼロ・ウェイスト認証制度の設立、企業との連携事業など政策立案や事業開発を行うと共に、国内外で年間100件以上の研修や講演を行いゼロ・ウェイストの普及に貢献する。2012年世界経済フォーラムのGlobal Shaperに選出され、2019年世界経済フォーラム年次総会(通称ダボス会議)では共同議長を務めた。



パネリスト

普川 玲

スターバックスコーヒー
ジャパン株式会社

スターバックスコーヒージャパン株式会社 サプライチェーン本部 購買部 エシカルソーシング・サステナビリティチームマネージャー。慶應義塾大学環境情報学部卒業。2005年にスターバックスに入社。2007年より食品リサイクルや社内の環境教育など環境への取り組みを担当。店舗でコーヒー抽出後の豆かすを牛の乳酸発酵飼料や野菜を育てるたい肥として再資源化。この飼料を用いて育てられた乳牛のミルクや、たい肥で育てられた野菜をスターバックスのドリンクやサンドイッチの原材料として用いるリサイクルを実施中。

● プログラム

13:00 ~ 受付開始

13:30 ~

基調講演

脱プラスチック、世界は今。
～世界の課題に地方から挑戦する～

事例報告

- スターバックス・ジャパン
- 無料給水アプリ mymizu

パネルディスカッション

おいしいお茶とお菓子を囲んで意見交換会
お茶代として別途100円お願いします。

16:00 終了



パネリスト

マクティア マリコ

一般社団法人
Social Innovation Japan/mymizu
代表理事 共同創業者

ロンドン大学卒、中日新聞社ロンドン支局を経て、2014年に駐日英国大使館の国際通商部勤務。日英両国間のイノベーションを促進すると共に、フリーランスとして社会的企業でのプロボノやコンサルティングに取り組む。日本において社会の深刻な課題に取り組むビジネスを増やすため、2017年一般社団法人 Social Innovation Japanを設立。その一環として、ペットボトルの削減をミッションにした日本初の無料給水プラットフォーム mymizu を立ち上げる。サーキュラーエコノミーを促進する Circular Economy Club の東京担当も担う。

コーディネーター

仲山 德音

亀岡市 副市長



東京大学法学部卒。2011年財務省入省後、税や国債などの業務を幅広く経験。2016年から2年間官費留学生として中国の清華大学金融学院で経済・金融を学んだ後、仏 INSEAD 経営大学院でMBA取得。留学中に「官僚だからこそ得られた知識・経験・人脈を日本の地域社会のために活かしたい」と内閣府の地方創生人材支援制度に応募。2018年7月から京都府亀岡市地方創生担当部長に就任、2019年7月に副市長就任。



特定非営利活動法人
プロジェクト保津川

京都府亀岡市追分町谷筋 37-21 ふうっと HOUSE
TEL/FAX : 0771-20-2569 MAIL : info@hozugawa.org



LINE アカウント
pkp1669g
フェイスブックアカウント
Project.Hozu.River
ツイッターアカウント
projecthozugawa

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
プロジェクト保津川は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています